

稲作だより

第 4 号

本田初期編

令和5年5月 11 日発行

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト

最上地域本部

最上総合支庁農業技術普及課

Tel 29-1329 (稲作担当)

天気は数日の周期で変わる予報
田植え日和を逃さず、移植作業を進めましょう

(気象庁 東北地方の1か月予報 5/11 現在)

◎移植時期 ～適期内に「田植え日和」を選んで～

移植適期は **5月10日～5月25日**

移植の遅れは穂数の減少や出穂・登熟の遅れなどにより収量減に繋がります(表1)。

適期内に移植を終えられるよう、計画的に作業を進めましょう。

特に「つや姫」は**5月20日まで**、「雪若丸」は**5月25日まで**に植え終え、高品質の維持に努めましょう。

表1 移植日と収量の関係

移植日	収量(kg/10a)	
	H29(登熟不良年)	R04
～5/20	495(100)	530(100)
5/21～25	468(95)	524(99)
5/26～	433(87)	504(95)

(「つや姫チェックリスト」より)

移植は好天が見込まれる日に

低温・強風日の移植は植え傷みの原因となり、活着や初期生育の遅れにつながります。

◎植付深・栽植密度 ～移植初日にしっかり確認～

植付深は **3cm 程度**

深植えは、初期の分けつ発生を抑制します(図1)。

移植始めは、感覚を過信せず深植えになっていないか確認しましょう。

栽植密度 **70 株/坪(21.2 株/㎡)**を目安に

植込本数 **4～5 本/株、100 本/㎡**を確保

㎡当たりの植込本数が少ないと、穂数不足、一穂粒数過多による品質・食味・収量低下の要因になります。

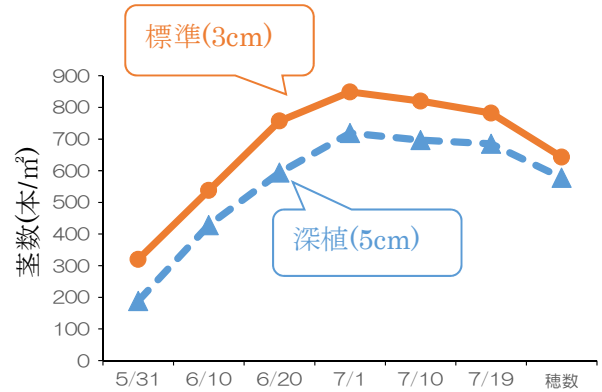


図1 異なる植付深による茎数の増え方 (R1 庄内農業技術普及課「つや姫」実証圃)

LINE
始めました

LINE公式アカウント「最上ベスト稲作」

登録者募集中!

最上地域の水稻に関する技術情報や、
研修会の案内などがスマホで受け取れます。



登録用QR

◎高密度播種苗移植のポイント

丁寧な代かきで浮苗・転び苗・欠株対策

播種後 20 日を目途に移植

第 1 葉の黄化が見られたら移植 3 日前に窒素成分 1g/箱の追肥

◎水管理 ～活着後浅水管理で分けつ促進～

移植～活着までは水深 4～5cm

風や外気から稲を保護し、根の発生を促すため深水管理を行います。

活着後は日中水深 2～3cm の止水管理

地水温を高めて分けつの発生を促すため、浅水管理を行います。

また、昼夜の温度較差を維持するため、昼間止水・夜間かんがいを行います。

ただし、低温や強風時は水深 4～5cm 程度（深水管理）とし、稲体の保護に努めましょう。

◎いもち病防除 ～葉いもちの発生を抑えるために～

箱施用剤の入れ忘れに注意！

地域全体の発生源とならないよう、計画した剤は忘れずに施用しましょう。

置き苗は田植え後 1 週間程度を目安に処分

置き苗はいもち病の発生源となります。

忘れずに処分しましょう。



図2 取り置き苗で発生した葉いもちの病斑
令和4年6月6日 病害虫防除所撮影

◎雑草防除 ～効果的な雑草防除を行うために～

除草剤散布時期に注意

定められた使用時期から外れると、薬害の発生、除草効果が劣る等の恐れがある。

雑草の葉齢展開は水稻よりも早いため、防除適期を逃さないよう雑草の生育をよく観察する。

剤に応じた水深と 7 日間の止水で除草剤の効果を最大限発揮

施用時は剤型に応じて下記の水深を保ちます。

粒剤・フロアブル剤・顆粒水和剤：3～5cm

ジャンボ剤・豆つぶ剤・250 グラム粒剤：5cm 以上

散布後はしっかり水尻を止め、漏水を防ぎましょう

散布後 7 日間は止水管理とし、田面が露出しないように注意しましょう。

*薬害とドリフト防止のため、強風時の除草剤散布は控えましょう。

「山形県農作業事故防止啓発運動～春季運動強化期間
(4月10日～6月10日)」

- ① 補助作業者を田植え機前部にしがみつかせての退出は厳禁！
- ② 苗の受け渡し時は足元の安定を確認！
- ③ 整備は必ずエンジンを止めてから！動く爪は触らない！